

“ジャポニスム 2018：響きあう魂” ～その成果と継承～

“ジャポニスム 2018：響きあう魂”は、2016年5月のオランダー安倍両首脳の合意により発表され、日仏友好160年を記念する史上最大規模の日本文化・芸術の祭典として、2018年7月から2019年2月までのほぼ8か月にわたり、パリ市内を中心に100を超える会場で開催されました。実施された公式企画・特別企画は105件、参加企画204件、観客動員数総計は350万人を超え、これまでにない日本文化理解者の広がりを得て、成功裡に閉幕しました。展覧会では、日本文化の原点とも言うべき縄文から琳派、若冲、そして最新のチームラボ、マンガに至るまで、舞台公演では、能・文楽・歌舞伎から現代演劇や初音ミクに至るまで、さらには食文化や地方の祭りのような日本人の生活文化に根ざした催しなど、多様性に富んだ日本文化の魅力が紹介されました。

日仏会館は、国際交流基金、フランス大使館の協力を得て、2017年1月23日に「ジャポニスム 2018：フランスに日本の何をどう伝えるのか」と題する鼎談を開催し、“ジャポニスム 2018”のスタートアップを支援しました。未だ閉幕の余韻残る機を捉え、このたびはかかる未曾有の祭典を振り返り、その成果と将来への展望について考察するシンポジウムを企画します。

第1部では、“ジャポニスム 2018”公式企画の主催者であり、事務局を務めた国際交流基金の安藤裕康理事長をお迎えし、準備から実現までの多難な道のりを乗り越え、多くの感動の声に接して、そこから見えてくる今後の日仏交流の展望について、当会館松浦晃一郎名誉理事長と対談していただきました。

対談に続いて、第2部のシンポジウムでは、舞台公演、展覧会、市民交流の各分野で“ジャポニスム 2018”に関わった専門家の方々と一緒に、それぞれの現場での意義や課題を浮き彫りにし、プレスの報道や参加アーティスト・観客の反響を検証し共有することを試みます。さらに、“ジャポニスム 2018”が当初期待されていた目標を達成できたか、日仏文化交流にどんな足跡を遺したか、そしてこれを礎にして、日仏双方の関係者が、今後何をどのように積み重ねて行くべきかを論議します。

お問い合わせ：

公益財団法人日仏会館

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25
tel:03-5424-1141 e-mail:bjmfj@mftokyo.or.jp
アクセス：恵比寿駅からガーデンプレイス方面に
徒歩10分

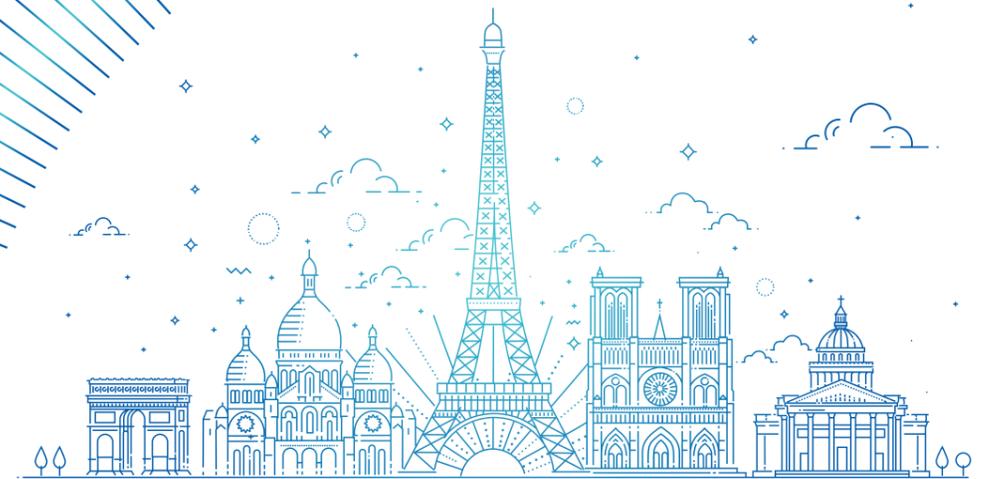
Informations：

Maison franco-japonaise

3-9-25 Ebisu Shibuya-ku, Tokyo 150-0013
tel: 03-5424-1141
e-mail: bjmfj@mftokyo.or.jp
Accès : 10 min à pied de la station Ebisu
(direction Ebisu Garden Place)



«Japonismes 2018 : les âmes en résonance» —Bilan et transmission de l'année du Japon en France



“ジャポニスム 2018： 響きあう魂” ～その成果と継承～

第1部 対談

“ジャポニスム 2018”を振り返り、今後の日仏文化交流を展望する
2019年5月7日(火) 18:30～20:00 (18:00開場) 日仏会館1階ホール 入場無料
mardi 7 mai 2019 Auditorium de la Maison franco-japonaise

第2部 シンポジウム

“ジャポニスム 2018”が遺したもの——その成果と継承
2019年6月8日(土) 9:45～18:00 (9:30開場) 日仏会館1階ホール 入場無料
samedi 8 juin 2019 Auditorium de la Maison franco-japonaise

要事前申込：www.mftokyo.or.jp



主催：公益財団法人日仏会館
共催：独立行政法人国際交流基金、文化系フランス政府給費留学生(ABC)の会

Organisateur : Fondation Maison franco-japonaise Co-organisateur : Fondation du Japon, ABC - Association des Anciens Boursiers Culturels

2019年6月8日(土) 9:45～18:00

samedi 8 juin 9h45 – 18h00

9:45 **趣旨説明 Mot d'ouverture**

岡 真理子 (日仏会館常務理事) Mariko OKA-FUKUROI (Fondation MFJ, univ. Teikyo)

10:00 **第1セッション 舞台芸術 Spectacles vivants**

パネリスト Panélistes :

宮城 聡 (SPAC-静岡県舞台芸術センター 芸術総監督) Satoshi MIYAGI (directeur artistique, SPAC)

“ジャポニスム 2018”でのわれわれの取り組み

川口隆夫 (パフォーマー・ダンサー) Takao KAWAGUCHI (performeur, danseur)

カズオがパリにやってくる!

岩井秀人 (劇作家・演出家・俳優) Hideto IWAI (auteur dramatique, metteur en scène, acteur)

フランスにて自作自演してもらいました

モデレーター Modérateur :

藤井慎太郎 (早稲田大学文学学術院教授) Shintarô FUJII (univ. Waseda)

11:45 **昼食 Pause déjeuner**

13:15 **第2セッション 展覧会 Expositions**

パネリスト Panélistes :

高階秀爾 (大原美術館長) Shûji TAKASHINA (directeur, musée d'art Ohara)

「見たいもの」から「見せたいもの」へ

名和晃平 (彫刻家・京都造形芸術大学教授)

Kôhei NAWA (sculpteur, univ. d'art et de design de Kyoto)

Throne 空位の玉座 / Foam 青い泡

五十嵐太郎 (東北大学教授) Tarô IGARASHI (univ. Tôhoku)

展示の空間デザインと手法について

モデレーター Modératrice :

林 洋子 (文化庁芸術文化調査官) Yôko HAYASHI (Agence pour les Affaires culturelles)

15:00 **コーヒープレーク Pause café**

15:15 **第3セッション 市民交流 Echanges des citoyens**

パネリスト Panélistes :

橘木芳徳 (暁星学園フランス語教育顧問・前ジャポニスム 2018 教育交流アドバイザー)

Yoshinori TACHIBANAKI (Ecole de l'Etoile du Matin)

フランスの高校生、大学生の日本観

秋田佳紀 (青森県観光国際戦略局長) Yoshinori AKITA (préfecture d'Aomori)

“ジャポニスム 2018”とアオモリスム

宮下祐輔 (神楽坂ふしきの店主) Yûsuke MIYASHITA (SAKE gastronome)

フランスにおける SAKE gastronomie の可能性

モデレーター Modérateur :

増田是人 (外務省大臣官房戦略的対外発信拠点室首席事務官・前ジャポニスム 2018 事務局長)

Korehito MASUDA (ministère des Affaires étrangères)

17:00 **総括セッション**

“ジャポニスム 2018：響きあう魂”の後に続くもの

Récapitulation : ce qui suit «Japonismes 2018 : les âmes en résonance»

パネリスト Panélistes :

藤井慎太郎 (早稲田大学文学学術院教授) Shintarô FUJII (univ. Waseda)

林 洋子 (文化庁芸術文化調査官) Yôko HAYASHI (Agence pour les Affaires culturelles)

岡 真理子 (日仏会館常務理事) Mariko OKA-FUKUROI (Fondation MFJ, univ. Teikyo)

モデレーター Modératrice :

坂井セシル (日仏会館・フランス国立日本研究所長) Cécile SAKAI (IFRJ-MFJ)

18:00 **懇親会 Cocktail**

日仏会館 1階ホール フォワイエ Foyer de la MFJ